

令和元年度第1回瑞穂市障害者計画等策定委員会議事録

- 1 開催日時 令和元年12月12日(木) 午後1時～午後3時15分
- 2 開催場所 瑞穂市総合センター5階 第4会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員 11名
玄景華、所俊彦、宇野睦子、加藤央、林善太郎、安藤邦章
武藤由美、林たつ美、羽野健敏、海老名祥夫、成山直美
 - ※欠席者：1名 河合一恵
 - (2) 瑞穂市長 森 和之
 - (3) 事務局
健康福祉部長 平塚直樹、福祉生活課長 栗田正直
福祉生活課 庄司洋、福祉生活課 桂川伸哉
 - (4) コンサル業者
Next-i 株式会社 安村眞也
- 4 議題
 - (1) 計画策定の趣旨について
 - (2) 瑞穂市の障がい福祉の現状について
 - (3) アンケート調査について
 - (4) その他
- 5 会議資料
計画策定の趣旨について(資料1)
瑞穂市第2次総合計画 抜粋(資料1別紙)
計画策定のスケジュールについて(予定)(資料1-1)
瑞穂市の障がい福祉の現状について(資料2)
身体障害者手帳所持者向けアンケート調査票(資料3)
療育手帳所持者向けアンケート調査票(資料4)
精神障害者保健福祉手帳所持者向けアンケート調査票(資料5)
瑞穂市地域福祉計画見直しのための市民アンケート調査票
手帳所持者数(R1.11.1現在)

6 議事内容

司 会	<p>それでは、定刻となりましたので始めさせていただきます。</p> <p>本日の司会進行を務めさせていただきます、健康福祉部福祉生活課長の栗田です。</p> <p>本日の会議には、12名中10名の出席をいただいております。</p> <p>出席者が過半数になりますので、瑞穂市附属機関設置条例第8条の規定に基づき、本会議が成立します。</p> <p>それでは、ただいまより第1回瑞穂市障害者計画等策定委員会を開催します。</p> <p>まず初めに、委嘱状の交付を行います。</p> <p>市長より、皆様の座席にて委嘱状を交付させていただきます。</p>
	市長による委嘱状交付
司 会	それでは次に、瑞穂市長森和之よりご挨拶申し上げます。
市 長	市長挨拶
司 会	<p>ありがとうございました。</p> <p>申し訳ありませんが、市長はこの後、議会がありますので、ここで退席させていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
司 会	<p>次に、委員の自己紹介に移ります。</p> <p>第一回の会合なので、委員様よりおひとり様ずつ自己紹介を席順にてお願い申し上げます。</p>
	委員自己紹介
司 会	<p>続きまして、事務局を紹介させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">事務局紹介</p> <p>また、本日は瑞穂市障害者計画の策定業務を委託している Next-i 株式会社の担当者の方も同席されますので、ご了承ください。</p>
コンサル業者	よろしくお願いいたします。
司 会	<p>続きまして、会長及び副会長の選任を行います。</p> <p>選任につきましては、瑞穂市附属機関設置条例第7条第2項により、委員の互選によると定められておりますので、ご推薦がありましたらよろしくお願いいたします。</p>
A委員	<p>私は前回の策定時も委員でしたが、前は玄先生が中心になってプランを立てていただきましたので、会長として玄先生にお願いしたいです。</p> <p>また、副会長は加藤さんが、玄先生が中心になって進めていく中で、副会長としての立場でまとめていただいたことで良いプランになったと感じております。</p> <p>会長には玄先生を、副会長には加藤さんを推薦いたしますが、よろしくお願いいたします。</p>
司 会	それでは、ただいま会長に玄景華さま、副会長に加藤央さまの推薦がありました。賛成の方は挙手をお願いします。

	<p style="text-align: center;">全員挙手</p> <p>ありがとうございます。 皆様のご賛同をいただきましたので、本委員会の会長に玄景華さま、副会長に加藤央さまが選任されました。 それではお二方は申し訳ありませんが、会長席と副会長席の方へ移動をお願い致します。 簡単で結構ですので、それぞれ一言ずつご挨拶をお願い致します。</p>
会 長 副会長	会長、副会長挨拶
司 会	<p>ありがとうございました。 それでは、これより議事にうつります。 これからの議事進行は、瑞穂市附属機関設置条例第7条第3項に従い、会長である玄委員に議長を務めていただきます。 よろしく願いいたします。</p>
会 長	それでは、ご指名いただきましたので本委員会の会長を務めさせていただきます。委員会の進行に何卒ご協力をお願い致します。
副会長	副会長を務めさせていただきます。よろしく願いいたします。
会 長	<p>それでは、本委員会は瑞穂市審議会等の設置等に関する要綱第11条により、原則公開となっていますので、この会議を公開とさせていただきますがよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">異議なしの声</p> <p>異議がないようですので、公開とさせていただきます。 次に、同要綱第12条で、会議の公開は希望する者に会議を傍聴させることになっています。 まず傍聴定員を何人にするかを決めなければならないですが、事務局から案はありますでしょうか。</p>
事務局	定員に規定はありませんが、公開する意義を考え、定員は5人でいかがでしょうか。
会 長	<p>事務局から定員5人という案が提示されましたが、委員の皆様はご意見ありますでしょうか。 特にご意見がないようなので、これから開催される会議の傍聴人の定員は5人とさせていただきます。 引き続きまして、事務局の方から今回の会議の傍聴人の申し出はありましたでしょうか。</p>
事務局	ただいま確認しましたところ、今回は傍聴を希望される方はいらっしゃいませんでした。
会 長	<p>傍聴が特にないということで会議を進めさせていただきます。 次に、本会議の会議録について審議をさせていただきます。 事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	会議録作成について説明
会 長	ただいま事務局よりご提案がありました。何かご意見等ありますでしょうか。

	<p>ようか。</p> <p>それでは、事務局の提案に賛成の方は挙手をお願い致します。</p> <p style="text-align: center;">全員挙手</p> <p>ありがとうございます。全員に挙手をいただきましたので、事務局の案のとおり、要点筆記、発言者の氏名は伏せる、作成後は会長・副会長による確認をする、ということで会議録の作成を行います。</p> <p>それでは議題に進みます。</p> <p>議題の1. 計画策定の趣旨について、事務局より説明をお願い致します。</p>
事務局	資料に沿って説明
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>質疑に入る前に、委員がもう1名ご出席されましたので、ご挨拶をお願い致します。</p>
委員	自己紹介
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、計画策定の趣旨について委員の皆様からご質問、ご意見等ありますでしょうか。</p>
A委員	<p>趣旨の最初の部分について、現段階ではこの文章で良いと思いますが、計画策定が令和3年度のため、オリンピック等が記されているのはどうかと思うのですが。</p>
事務局	<p>この文章をそのまま計画書に載せるわけではなく、あくまで本日の委員会用の説明資料として掲載させていただきました。</p> <p>実際策定するのは令和3年3月になるので、その時点での時代背景を加味しながら、文言を修正し、冊子に掲載したいと思います。</p>
A委員	<p>市長も先ほどおっしゃっていましたが、災害や共生社会はいいことだと思いますが、障がい者の中にも高齢者がいる、という面でもこういう趣旨を踏まえた内容も取り組んでいただくのも大事だと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>文言は修正すると思いますが、この辺りも検討していただければと思います。</p> <p>続きまして、議題の2. 瑞穂市の障がい福祉の現状について、事務局より説明をお願い致します。</p>
事務局	資料に沿って説明
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、瑞穂市の障がい福祉の現状について委員の皆様からご質問、ご意見等ありますでしょうか。</p>
B委員	<p>細かいことになりますが、資料の12頁の短期入所（福祉型）の数について、総数は増えていますが一人当たりの数が減っています。同じく15頁の児童発達支援の31年度計画の数値も一人当たりの数が減っています。</p> <p>数値目標を掲げる場合に、下がっていく目標値を掲げるのはどうなのでしょう。</p>
C委員	<p>10頁から年度数が書いていますが、平成表記ではなく、令和表記にした</p>

	方が分かりやすいと思います。
A委員	実績が挙げられていますが、極端に減った、極端に増えたものは理由があると思いますが、それが分かる範囲内で記載していただいた方が良いと思います。
会 長	事務局からは何かありますでしょうか。
事務局	<p>ご指摘については、第5期計画については始まっておりますので、第6期計画策定時にサービス量の低下を招かないように、ニーズ量とサービス量を再度精査して数値目標を立てます。</p> <p>また、第2期障害者総合プランでは令和表記で策定いたします。</p> <p>また、実績値については表現方法を改めます。</p> <p>サービスの原因・理由について丁寧に表現できればよかったですのですが、療育手帳、精神保健福祉手帳所持者数の増加によって、居宅介護などのヘルパー利用は増えており、放課後等デイサービスについては、市内に7事業所、近隣にも事業所等ができています。事業所の増加に加え、1歳児検診等で発達についての相談を受けた方については、療育センターにつながる、小学校に入学されるお子さんについては、放課後等デイサービスにつながるなど、早期療育ということで、成長過程での早い段階で療育を行って、将来のお子さんの自立につなげていけたらということで、国の方から法律が変わった関係もあります。そのため、お子さんについての障がい児福祉サービス充実がされていることが背景にあると思います。</p> <p>共同生活援助、グループホームについては、市内に設置されたこと、近隣にも整備されたことで入所者が増えてきたということが背景にあると考えています。</p>
会 長	他にはありますでしょうか。
D委員	7頁の(4)の、障害者優先調達について平成31年の実績が143ということですが、昨年度の社会福祉協議会では、障害者施設の行っている自主製品等のパンフレットを作成し、それに基づいて、もっと増加傾向にありますので、事務局の皆さんへのご説明等、努力していただければよく分かるものになっていると思います。ありがとうございます。
会 長	他にはありますでしょうか。
E委員	<p>いつも気になっているのですが、3頁にあります、自立支援給付利用状況の、重度障害者等包括支援でゼロが続いており、アンケートでは手帳所持者の意向を伺うとのことですが、瑞穂市も大きな市なので、お見えになるのではと考えています。</p> <p>重度障害の方の数字が見えてこないというのは、そこに目を向けなければならないのではと思います。</p> <p>関連して、6頁の地域生活支援事業の利用状況について、理解者を増やす等の関係づくりが非常に大事だと考えています。</p> <p>理解の促進や啓発、支援をする事業は関係者だけが知っているのではなく、実際に困っている方の吸い上げも大事だと思います。</p> <p>数字がゼロになっているところなど、これから策定していくうえで、何</p>

	<p>かもう一步進めることができたかと考えています。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>第6期にあたっては、計画策定をして施策を提言していくというインセンティブを支払う関係もあるので、ゼロというのは市としても減らしていただくようにご検討いただき、少しでも数字を挙げていただくとよいのではないかと考えています。</p> <p>すべて数字を入れるのは難しいと思いますが、この策定員会の中で論議できればと思います。</p>
事務局	<p>重度障害者等包括支援については、市では現在、受給者はいらっしゃるが、他のサービスの組み合わせで何とか対応しているという状況になっています。</p> <p>計画書の中に数字を挙げるというのは、今後瑞穂市に対象者が出てくるということを計画書で謳うということになりますので、それが良いかどうかという所は、考え方になると思います。</p> <p>地域生活支援の事業の理解促進・啓発事業について、計画値として有、実績値として無となっていますが、国の地域生活支援事業の補助対象としては実施していないということになります。</p> <p>実際には平成29年以降では、理解促進・啓発事業については市の産業フェスタ、秋に実施しているふれあいフェスタ等で障害者差別解消法の啓発や、手話ブースを設置して来場者の方に手話の指文字で名前を表現していただき、障害者差別解消のパンフレットを配布するなどして、理解促進・啓発事業を進めています。</p> <p>また、高齢者の大学ということで「ことぶき大学」を実施しており、その中で年1回、講師をお招きして障がいに関する講座を行っています。</p> <p>自発的活動支援事業について、障害者の災害時非難支援用バンダナを作成し、対象者にお配りして、災害時にバンダナを着用した方を見つけたら、避難の手助けをしてくださいということで、平成30年度は補助対象として実施しています。</p> <p>それ以外にも成年後見など、事業を実施できていないものもありますので、体制等も整えながら順次進めていきたいと考えていますので、ご理解くださいますようお願いいたします。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>実績については平成30年度までしか載っていませんので令和元年度や令和2年度の実績については、第6期計画策定を進めていく中で改めて報告していただければと思います。</p> <p>それでは、議題の3. アンケート調査について、事務局より説明をお願い致します。</p>
事務局	<p>資料3～資料5、手帳所持者数の資料等に沿って説明</p>
C委員	<p>調査票の文言ですが、簡単な表記の方がいいと思います。</p> <p>難しい言葉を使うよりも、簡潔に表現した方が良いと思います。</p>
B委員	<p>前回のアンケートでは複数回答が可能でしたが、今回は単回答になって</p>

	<p>います。</p> <p>それだと、回答をするのが困ってしまうのではないかと思います。</p>
C委員	<p>再度確認しますが、前は65歳未満でしたが、今回よりオープンにして、65歳以上の方にもアンケートを取り、手帳所持者全員にアンケートを取ることなのですね。</p>
事務局	<p>手帳所持者全員ですと、90歳の方のようにご高齢の方もいらっしゃるの で、その方の記入の負担を考えると、80歳で線引きするのはどうかと考えて います。</p>
C委員	<p>前は65歳未満だったので、自分たちは関係ないんだという声があり ました。そのため、全年齢対象ということはありがたいと思います。</p>
会長	<p>色々質問がありましたが、事務局からは80歳未満を対象にしたらとい うことですが、いかがでしょうか。</p>
副会長	<p>こういった調査は公平でないといけないので、恣意的に区切るのはやめ た方がいいと思います。書けなかったら出せないということなので、これ はやむを得ないと思います。</p> <p>基本的には公平感を持たせることが大事だと思います。</p>
F委員	<p>表紙には代筆していただく場合の項目もありますので、代理の方が書い たのならそれが分かれば、90歳でも100歳でも問題ないと思いますので、 全員が対象の方がいいと思います。</p>
事務局	<p>それでは、全年齢の手帳所持者を対象にしたいと思います。</p>
会長	<p>回収率の問題もありますが、やってみないと分からない部分もあります ので、それも含めて全数調査を行うという方向で対応するということにい たします。</p> <p>アンケートの文言について、「一人でできる」「手助けがあればできる」 「できない」の表記は、シンプル良ければこのままで、分かりづらい部分 があれば文言を変えるか、補記する必要があるかと思いますが、これはい かがでしょうか。</p> <p>できる、できないについては、設問によってニュアンスが変わっている ので、一律に変えると分かりにくくなるかと思いますが。</p> <p>そのため、質問文のすぐ下に補記をする等でもよいのではと思いま すが、いかがでしょうか。</p>
C委員	<p>ルビのある調査票とそうでない調査票の違いは何ですか。</p>
事務局	<p>資料4については、療育手帳所持者向けの調査票ということで、ご本人 が記入される場合に、できるだけ分かりやすくするために漢字にルビを振 って読めるようにしています。</p> <p>今回の資料では最初の方の頁しかルビを振っていませんが、実際に送る 調査票にはすべてルビを振っています。</p>
C委員	<p>聴覚障害者の方への調査票もルビを振った方がいいのではないでしょ うか。</p>
A委員	<p>会長が最初におっしゃっていた事項について、やはり解説を備考欄等 に入れた方がいいと思います。</p>

会 長	できる、できないについては、簡単な解説を入れていただければと思います。
事務局	すべての調査票で、設問のすぐ下に解説を入れさせていただき、回答はこのままでいかせていただきます。
会 長	資料5の精神障害者について、医療機関にかかっていますかの設問について、ご意見はありますでしょうか。
G委員	医療機関といっても、内科等も診療所ですので、こういった場合は分けられないといけないと思います。 その為、医療機関の後にカッコ書きで精神科・心療内科と入れていただいた方が分かりやすいと思います。 また、気になったのが、できる・できないについて、トイレ・入浴・整容を一緒にしてしまっただけかと思いましたが、 一人でできる、手助けがあればできるというのは、解説をつけるとしても丁寧に書かなければいけないと思います。例えば、手助けといってもどのレベルなのか非常に難しいと思います。
会 長	ありがとうございます。 資料5の医療機関については、カッコ書きを追加するなど、設問の方向をしっかりといただいた方が良いと思います。
副会長	精神だけでなく。療育手帳所持者向けについてはいかがでしょうか。
G委員	これについては、精神的な病気で手帳をもらっているわけではなく、知的な要因で手帳をもらっているということなので、先ほどとは違うものになるので、療育手帳所持者については精神科もあれば、身体的な要因で病院にかかっている方もいますので、例えば設問を増やして、一般内科なのか等の設問をつくれればよいのではと思います。 その方が、アンケートを修正するうえでより分かりやすくなると思います。
副会長	前回の精神障害者向けの調査票では、「あなたは現在、精神科や診療内科に通院していますか」という内容でした。 やはり、直接的に聞いた方が良いでしょう。
G委員	一般的には、直接的に聞いた方が本人に対してもわかりやすいと思います。
E委員	ここで求めている医療機関への質問は、医療機関への通院や入院の状況について知りたいということだと思います。 この設問はそこをききたいという意図があると思うのですが。
会 長	ありがとうございます。 私個人の意見ですが、アンケートの趣旨からして、医療機関にかかっているということだけで、詳細な診療科名は特に必要ないと思います。 ただ、主な医療機関の「主な」が悩むのではと思いますが、いかがでしょうか。
F委員	実際に書く立場になると思いますので、意見を申し上げます。 問10を応えるときは「通院しています」と書きやすいのですが、年金

	<p>受給を申請する年代になると、通院していないと申請できないので、保護者の方はどこも悪くないけど通院して相談を始めることになります。実際、瑞穂市内にこういったことに対応できる医療機関があるのかと言われると、少ないと思います。医療機関が増やしてもらえらる等であればこの項目は必要になるかと思ひます。ずっと同じ医療機関に通ひ続けられるわけではなく、転院を繰り返す必要があひります。医療機関側としても、受け入れ体制があひりますので、すぐに受け入れてくれるところとそうでないところと出てくるため、すぐに受け入れてくれる病院を探して通院することになります。私は岐阜県内で収まっていますが、中には名古屋まで通っている人もあひます。</p> <p>この医療機関がどこかというのひ、市内・市外で漠然としてあひるものであれば、市内にそういうものがないのかなということであれば、場所に関してはこれでいいのではと思ひました。調査票が来るということは、必然的に手帳を持っているから、何かしらの通院をされてあひる方が多いと思ひます。</p> <p>手帳をもって様々なサービスを受けられるということを手帳に説明していただけると、医療機関に通うきっかけになると思ひます。</p> <p>なので、ここはシンプルでも問題ないと思ひます。</p> <p>また、専門の中で医療機関の中で支援を受けてあひるものはあひりますかという部分の回答は、あまりにも具体的すぎると難しいと思ひました。</p> <p>具体的なことが必要であれば、その方に書いていただければよいのではと思ひます。精神、身体、療育では皆さん言ひたいことが違ひるので、書きたいことをかけるスペースを作っただけだと、生の意見が拾えらると思ひます。</p>
A委員	<p>この調査票は手帳を持っている人に送っているひので、「あなたは現在、手帳に係る医療機関にかかっていますか」という問ひとした方がよいのではと思ひます。</p>
会 長	<p>他にはいかがでしょうひ。</p> <p>資料4については、アンケートのお願いのところひ、対象者が誰かということを手帳に明記していただかないと混乱を招く可能性があるひので、それが分かるようにしていただければと思ひます。</p> <p>改めて、アンケートは年齢を区切らず全数調査で行ひますが、今言っただけひ文言等はもう一度検討していただひて、来年1月には調査をしなければなりませんひので、最終的には私と副会長で確認させていただきますひが、よろしいでしょうひ。</p>
副会長	<p>療育手帳所持者向けの問7-1、「自閉症スペクトラム障害」についての設問があひりますが、これは精神障害者向けの内容ではないのでしょうか。</p>
H委員	<p>療育手帳にも関係してきます。</p>
D委員	<p>文字の大きさは妥当な大きさなのでしょうひ。</p>

事務局	<p>前回調査よりも文字のポイントは大きくし、見やすくしました。</p> <p>ただ、ボリュームの関係もあり、文字を大きくするとページ数も増えてしまうので、可能な範囲の中で文字の大きさは調整させていただきます。</p>
会 長	<p>資料4については他に比べると少し大きいかと思います。</p> <p>地域福祉計画のアンケートについて、これはどういう扱いなのでしょう</p>
事務局	<p>地域福祉計画のアンケートについては、地域福祉計画策定のためのアンケート調査票になり、障がい福祉についての設問も設けております。</p> <p>これについては、18歳以上の市民を無作為抽出してお伺いするので、幅広い意見をうかがえると思いますので、この結果も踏まえながら今後の策定に反映させていただきたいと思います。</p>
G委員	<p>すみません、最後に一つだけ、自閉症スペクトラム障害だけを特別に取り上げているのは、何か理由があるのですか。</p>
事務局	<p>発達障害の支援の施策をするにあたって、実際に該当する方がどれくらいいらっしゃるかを把握するために設問を設けたところです。</p> <p>発達障害の中にもさまざまな種類があり、ASDに限らず、全般的に含めた方がいいのかと考えています。</p>
会 長	<p>このほか、アンケートについて何かありましたら、改めて事務局にお伝えしていただければと思います。</p> <p>その他、事務局から何かありますでしょうか。</p>
事務局	<p>特にありません、</p>
会 長	<p>最後になりますが、次回の委員会の開催日時を決めたいと思います。</p> <p>事務局から何か案はありますでしょうか。</p>
事務局	<p>アンケートの実施や調査結果の集計、とりまとめの時間を考慮しますと、令和2年3月23日の週のどこかを考えています。</p> <p>開始は13時30分からを考えています。</p>
会 長	<p>委員の皆さんのご予定はいかがでしょうか。</p> <p>令和2年3月23日の13時30分から15時30分までで、アンケートの結果を踏まえて計画の検討をしていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>どうも、ありがとうございました。本日の議題は全て終わりましたので、事務局に返します。</p>
事務局	<p>会長をはじめ、委員の皆様については長時間にわたっての慎重なご審議をありがとうございました。</p> <p>以上を持ちました、第1回の委員会は終了いたします。</p> <p>また、第2回に先立ちました、事前に配布する資料等がありましたらご案内致します。</p> <p>お帰りの際は交通事故等にお気を付けください、</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p>